

たる處にして、固より結構なことに候得共此兩者を調和することは困難なる義に有之、經費節約の趣旨を以て各省各廳に於て使用する自動車制限の通達を發せられたる趣に有之候固より官廳用自動車を使用して暮夜待合に通ぶが如きは、絶對に禁止すべきものに有之候得共今日各省廳に於て使用する自動車が、如何に執務能率の増進に貢獻しつゝあることかを思はゞ寧ろ能率増進上之を増加することこそ適當とすれ、之を廢止減少するが如きは、文明の機を利用せしめずして尙文明的執務方法を探れと言ふに等しく、西洋紙を與へてペンを使用すべからずと言ふと同一に非ざるかと被存、能率増進上不得策と存候

敬具

惡道人心を惡化す

泥や塵埃をあびせて勢よく駆け抜けて行く自動車の大きな姿を見送る時ほど激しい階級闘争の念を沸き立たせることはないと言つた労働者があつた、しかし一體あれば九分九厘まで道路が悪いから起ることなのである。道路は死物で動かないから動く自動車に食つてかゝるのは人情として已むを得ないが自動車のあるのに渠未だ成らざるに水を通ずるからいけないのだ、乃ち曰く惡道惡化人心。

郊外

細井魚袋

咲き垂るる葛の房花つゆをもち道ゆくひとの肩にとどくも

x x x

務めよりかへる道べの石垣に葛からまりて埃しろしも

x x x

道のべにみあけし夜半の大空に星は流れて尾をひきにけり